




人と地球の架け橋に  
 **竹中土木**

Webサイト  
 新卒採用ページ



- 本社・管理本部人事部 〒136-8570 東京都江東区新砂1丁目1-1 ☎ 03-6810-6211
- 北海道支店 総務部 〒060-0042 札幌市中央区大通西4-1 ☎ 011-241-6428  
 (2023年12月9日移転) 〒060-0062 札幌市中央区南2条西11-328-2 ☎ 011-241-6428
- 東北支店 総務部 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-4-33 ☎ 022-221-7681
- 東京本店 総務部 〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目3-3 ☎ 03-6810-6300
- 名古屋支店 総務部 〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-13 ☎ 052-231-2121
- 大阪本店 総務部 〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 ☎ 06-6252-4081
- 広島支店 総務部 〒730-0015 広島市中区橋本町10-10 ☎ 082-222-7400
- 九州支店 総務部 〒810-0001 福岡市中央区天神4-2-20 ☎ 092-711-1831

<https://www.takenaka-doboku.co.jp/>

# RECRUITMENT BROCHURE

竹中土木で働くこととは…未来を支えるプロフェッショナルとしての誇り



©羽賀 翔一/コルク  
 twitter:@hagashoichi



# Keywordでみる竹中土木

## 竹中グループの土木分野を担う

竹中工務店グループの誕生は、今から約400年前まで遡ります。創業者である竹中藤兵衛正高が、尾張・織田家の普請奉行から神社仏閣の造営を主業とする工匠の道に入ったのが1610年のこと。以来、お客様の想いを第一に考え、「想いをかたちにすること」に絶え間ない努力を重ねてきました。この事業に対する姿勢はグループ会社である竹中土木にも受け継がれ、お客様第一主義を貫いています。

## 業界で稀有な土木専門ゼネコン

土木分野を専門として事業展開する竹中土木は、建築・土木を行っているゼネコン業界に於いて稀有な存在であり、各部門のすべての社員が、まさに「土木事業のスペシャリスト」です。工事現場はもちろんのこと、バックオフィスの事務系業務ともスムーズで良好なコミュニケーションが図れており、社員一丸となって問題解決に取り組み「最適解」を導き出すのが竹中土木らしさです。

## 最良の作品づくりで社会に貢献する

竹中土木は、「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念を掲げています。建設に関わる全ての人々の想いがかたちになったときに、その構造物は「作品」となって社会や人々の生活を支え続けます。このような「ものづくりに対する姿勢」を、今後も継続しながら技術や情熱を構造物の建設に込めて、より良い作品づくりに取り組んでいきます。



新東名高速道路 新秦野インターチェンジ(神奈川県)

## 人と地球の架け橋に

竹中土木は、創業以来一貫して土木分野を基軸に社会資本の整備を通じて、社会の発展と人々の暮らしを豊かなものに変えてきました。土木分野は昔も今も大地と英知の融和であり、様々な土木構造物は、後世に引き継ぐべき社会資本であり大切な資産です。今後も、社会のニーズや変化に応え続け「人へのやさしさ」の視点から当社の原点である大地に想いを込め、建設技術の開発と作品創造で理想の都市・社会づくりに貢献していきます。

## 地球環境と共生する

竹中グループが進める「まちづくり総合エンジニアリング企業」の事業領域のなかで、サステナブル社会の実現に向けて環境と共生する強い社会基盤「グリーンインフラの構築」を目指しています。従来の「壊して・つくる」消費型社会で培ってきた高度な土木技術を、多様化・高度化する社会のニーズに適應できるように進化させ、「良いものをつくり」「手入れして(強硬化)」「長く大切に使う」ストック型社会の実現に貢献したいと考えています。

## 社員は会社の宝物

多くの社員が口を揃えて「竹中土木は人を大切にする会社です」と言います。それが顕著に見てとれるのが、毎年行われている会社の行事や懇親会です。例えば「記念総会」という年に一度の大切なイベント…ここでは、1年間に竣工した工事の中から「功績の大きかった作品」や「環境に配慮した作品」など分野ごとに賞が贈られ、その工事に携わった社員全員が表彰されます。通常は各本支店ごとに執り行われる記念総会ですが、「創立75周年」という節目の年には、全社員が東京に集結して創立記念パーティを開催しました。福利厚生においても充実しており、社員だけでなく社員の家族のことまで考えてくれる温かい文化のある会社です。



創立75周年記念総会(2016年)

# Dataでみる竹中土木(2022年度)

## 受注高

931 億円

## 受注高構成比

道路・橋梁	34%
土地造成	17%
鉄道	13%
環境・エネルギー	12%
上下水道	4%
河川・堤防	2%
災害復旧	2%
その他土木 他	16%

## 売上高

866 億円

## 資本金

70 億円

## 当期純利益 & 純資産残高

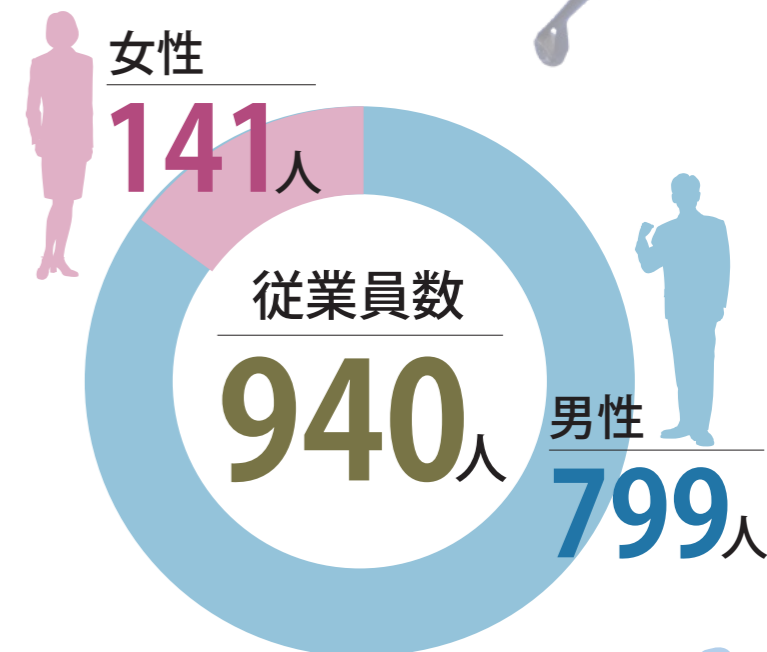
32 億円 433 億円

## 研究開発投資額

6.01 億円

## 新卒・キャリア採用者数

■ 新卒男性	33 人
■ 新卒女性	3 人
■ キャリア男性	4 人
■ キャリア女性	2 人



## 障がい者雇用率

実績 2.50%  
(法定雇用率 2.30%)

## 看護・介護休暇、育児休暇取得者数

看護 6 人 介護 5 人 育児 5 人  
(男性 2 人)

# 多様な専門スタッフが活躍する 土木の「ものづくり」

竹中土木はお客様のニーズに応える高い品質を追求…プロジェクトの企画・提案から設計・施工・アフターサービスまで総合的に最適のソリューションを提供します。  
多様な専門分野のスタッフ(技術職+事務職)が総力を結集して様々な課題を克服するとともにグループ会社と連携しながら「作品」と呼べる品質まで作り込んでいます。

## 調査 企画提案

立地調査・評価/市場調査・分析  
デューデリジェンス調査  
土地利用計画/事業プランの提案  
用地の斡旋・選定  
コンピュータシミュレーション

情報を収集し受注の可能性を検討  
最適なスタッフで情報を収集・分析  
お客さまの要求を満足させる  
最適なプランを提案する

## 設計

耐震・免震・制震構造設計  
基本設計  
実施設計・詳細設計  
周辺環境の検討  
耐久性・更新性の検討

プロジェクトを具現化するために  
各部門と連携して創造力を駆使し  
詳細な設計プランを練り上げる

## 施工

作業環境の整備/建設公害の防止  
安全管理の徹底/工程管理・工期の短縮  
コンクリートの高度な品質管理  
高精度で耐久性の高い施工  
省力化・省人化工法の採用  
全工事の自主検査

「品質・コスト・工期・安全・環境」面で  
課題を克服する施工体制を組織  
お客様を満足させる「作品」にまで作り込む

## 竣工・引渡し アフター サービス

定期点検/災害時対応  
補修・更新  
リニューアル提案

作品づくりを通じて  
サステナブル社会の構築につなげていく

作業所長・監理技術者



施工管理



技術・生産



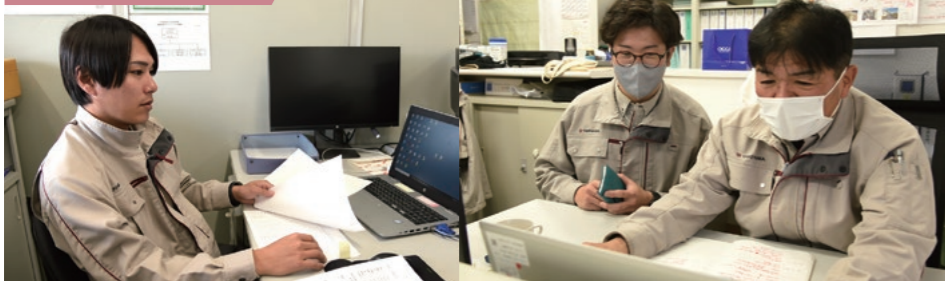
技術開発



技術研修生



生産事務



営業

- ・顧客対応
- ・営業推進
- ・技術提案
- ・積算



技術・設計



ICT&DX推進



財務・経理



総務・人事・法務



理系 / 技術職

文系 / 事務職

# 社会に求められる作品づくりを継続し 明るく活気ある建設業にしていきたい!

## ものづくりのプロに憧れて…

大きなものづくりに関心があったので土木工学を専攻。在学中の研究やインターンシップなどで土木の職人さんと触れあう機会があり、「ものづくりのプロフェッショナル」として働く職人方に尊敬や憧れに近いものを感じ…現場で工事に関わることが出来るゼネコンを志望しました。

## 竹中土木の魅力

「経験を積ませて育てていく」という風土が根づいています。私が現場で施工班の管理を任せられたのは入社2年目…上司から「計画書を読み込んでまずは自分で考えなさい」とアドバイスを頂き、失敗もしたし叱られもしましたが、無事工事を終えた際、「よくやってくれた!」という職長の言葉が震えるほど嬉しかったのを覚えています。



## 学生の皆さんへMessage

就職する会社を決める上で大事なことは、「無理せず仕事が出来そうか」「社風が自分に合っているか」そして「将来像が見えるか」だと思います。インターンシップなどを利用して実際の業務内容やキャリアアップ、社風などを感じることが大切。企業研究を怠らず自然体で臨めば、必ず自分に合った会社が見つかると思いますよ。

**VOICE**  
長末 暁侑

(2010年入社)

東名・横浜青葉IC作業所

工学研究科  
建設システム工学  
専攻

# 土壌対策のスペシャリストとして 環境問題に貢献したい

## 土木&環境分野で社会貢献を…

高専で土木工学、大学では衛生工学を専攻していたので、学んだことを活かせる分野で働きたいと考えるなかで…土木分野は生活に欠かせないインフラに携わることができるので、社会への貢献度は大きいと考えて選びました。現在携わる土壌対策は、専門的知識が求められるため日々勉強。形に残る仕事ではありませんが、お客様から信頼を得て「助かりました、ありがとうございます!」の言葉を頂けた時の達成感は格別です。

## 竹中土木の魅力

女性技術者はまだ少ないですが、子育てをしながら管理職としてバリバリ働く先輩もいるのでキャリア形成のイメージがしやすく、心強い職場環境。また、年齢や職種に関係なく「話しやすい雰囲気」も魅力ですね。



## 学生の皆さんへMessage

「何が自分にむいているのか?」悩むこともあるかと思いますが、何より「やりがいを持ってそう…」と思える業種や会社を選択しましょう。そして、入社後のギャップをなくすためにも会社見学等に積極的に参加し、そこで働く人と話してみることで会社の雰囲気や社風を感じ取り「働くイメージを掴む」ことが大事だと思います。

**VOICE**  
橋本 詩歩

(2014年入社)

東京本店/工務部 土壌環境G

工学院  
環境創生工学  
専攻

# 監理技術者

一定規模以上の工事現場に専任で配置される監理技術者は、施工計画の作成や工程管理・品質管理のほか「技術上の管理」及び施工従事者の指導監督などが主な職務。技術面の責任者として「総合的な監督」の役割を担うため施主をはじめ行政や協力会社からの信頼が不可欠でより厳しい資格や経験、高度な技術力が求められます。

※所属、内容は取材当時のものです

# 技術営業

FAE (Field Application Engineer) とも呼ばれる技術営業の主な職務は、技術的な専門知識を活かして「自社の強みやメリット」を提案し総合力で仕事の獲得に結びつけることです。高度化・複雑化するものづくりの技術面の優位性やコストメリットをお客様の理解度に応じて的確に伝えるプレゼンテーション能力や信頼を得るコミュニケーション力が求められます。

※所属、内容は取材当時のものです

# 土木の施工管理に誇りを持って常に責任ある仕事を…

## 女性でも働きやすい環境

何より現場で働きたかったのが土木専門ゼネコンの竹中土木に入社。毎日が勉強ですが徐々に任される仕事も増え、完成した“新東名”を走って自分の造ったものを見るのが今から楽しみです。現場仕事は体力的にきつい面もありますが、先輩の女性技術者は増えており、親身に優しく気遣ってくれる人ばかりの建設業は、案外“女性が働きやすい業界”だと感じています。

## 竹中土木の魅力

就活の時に感じた“人柄の良さ”は入社後も全く変わらず、優しく面倒見の良い先輩が多いです。また、子育てと両立させながら管理職として頑張っている先輩も多いので、とても心強いですよ。



## 学生の皆さんへMessage

入社してから長く働いていく上で、「会社の雰囲気」はとても大切。企業説明会で接する社員の方々の雰囲気から、その会社の「社風」が見えてくると思います。

説明会や現場見学・インターンシップなどに沢山参加して多くの人と出会い、その時に直感で“ピンときた会社”を選ぶのもありだと思いますよ。後悔しないよう頑張ってください。

**VOICE**  
平野 友香里  
(2019年入社)  
新東名・秦野IC作業所  
生産工学部  
土木工学科

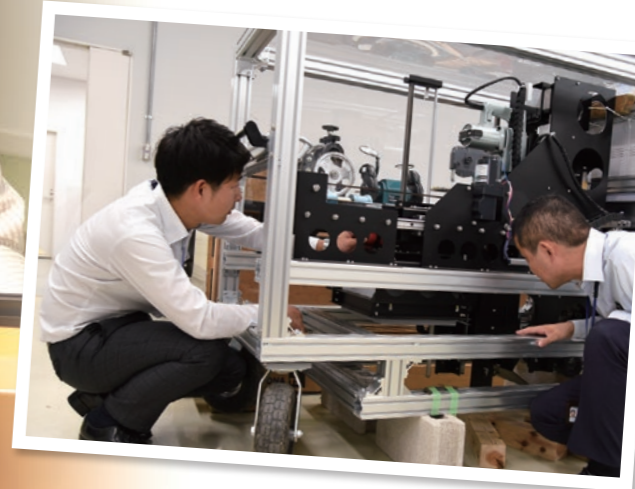
# Robot技術の開発・普及で生産性&安全性向上につなげたい

## 何より「ものづくり」が好き!

小さいころから工作が好きで、ものづくりのなかで一番スケールが大きい建設業を志望。「社会に役立つ地図に残る仕事」に魅力を感じ、「いつか子供と一緒に完成現場を巡る」ことを夢見て土木を専門とする竹中土木に入社。今は技術研究所で、現場の生産性向上につながる“ロボット技術の開発”に明けくれています。

## 竹中土木の魅力

社員一人ひとりをしっかり見て、個性を伸ばしてくれる会社だと思います。研修制度が充実していることはもちろんのこと、自分のやりたいことや考えていることをしっかり発信すれば、必ず上司(会社)に伝わります。



**VOICE**  
千葉 力  
(2010年入社)  
竹中技術研究所 研究員  
工学部 第四類  
建設・環境系

## 学生の皆さんへMessage

土木は大変なことの多い仕事ですが、その分「竣工」した時の喜びは言葉にできないほど格別です。「家族とともに完成した現場を回る夢」の実現はもう少し先になりそうですが、自分が携わった工事が実際に「地図に載っている」のを見た時は本当に感動しました(笑)。ものづくりに興味があればぜひ、建設業に入って竣工の感動を共有しましょう!

# 施工管理

施工管理の業務には、工事を納期までに完成させる「工程管理」品質基準に沿ったものをつくる「品質管理」、予算内で工事を進める「原価管理」、そして現場の安全を守る「安全管理」などがあります。複雑な工程を進めていく建設工事の現場において多くの人とコミュニケーションをとりながら細部にまで目を配り遅滞なく施工を進めて「安全と品質を確保」する重要な仕事です。

※所属、内容は取材当時のものです

# 技術開発

未来を拓く先端技術の研究開発は、本社/技術・生産本部を主体に竹中技術研究所の研究員・研修生が中核を担って進められます。建設全般にかかわる多様な専門分野の技術者が社内外から集いTAKENAKAの伝統と経験に革新を融合しながらイノベーションを推進。世に送り出した数々の新技術・新工法は、高い評価を得るとともにお客様に満足いただける「新たな価値」を提供しています。

※所属、内容は取材当時のものです

# 「新しい視点」で業務と向き合い 仕事をもっと楽しいものに…

## 社会貢献度の高さに魅かれて

様々な業種を比べてみたときに、建設業は社会貢献度が抜群。中でも土木事業は社会インフラを支え、人々の生活の基盤となる重要な分野であることに心魅かれました。

また、学生時代に野球部のマネージャーとして選手を支える役割を経験。建設現場をサポートする事務職との共通点は多く、チームの一員としてやりがいを感じる毎日です。

## 竹中土木の魅力

竹中グループとしての財務基盤の安定性と充実した福利厚生に加え、若手の意見やアイデアに耳を傾けてくれる柔軟な社風が根付いています。そして何より、人柄の良い素晴らしい仲間たちが大勢いることです。



## 学生の皆さんへMessage

多種多様な企業が存在する中で、自分に最適の会社を見つけることは大変なこと。だからこそ、自分の弱点にフォーカスして業種を選ぶのではなく、「自身の強み」に基づいて選択していけば最適解への近道となるかもしれません。その選択肢の一つに私たちの会社が挙げられ、一緒に働くことができることを楽しみにしています。

**VOICE**  
**米澤 一正**  
(2014年入社)  
大阪本店/工務部 生産事務G  
法学部  
法律学科

建設業における事務職の仕事のなかで…生産事務の職務は、円滑な工事進捗や現場の損益管理および安全衛生業務に加え肉体的な労働作業を行う従業員・作業員の心身のサポートなどその業務範囲は多岐にわたります。作業所開設から竣工に至るまでの「現場運営を支える」生産事務は事業所(会社)と現場の架け橋となる「やりがいのある仕事」です。

※所属、内容は取材当時のものです

# 職場研修に励む新入社員の声(2022年度入社)

**牧田 陽** 理工学部  
都市環境工学科  
中央道(大月～都留)耐震補強工事



これまで学んできた知識では、日々の現場業務で全く通用せず覚えることが盛り沢山…専門用語や物の名称など分からない事は先輩や作業員の方々に教えて頂いたりメモして空き時間に調べたりしています。まだまだ知らないことばかりなので、現場では積極的にコミュニケーションを図って分からないことはその場ですぐに聞いて確認…近頃は、職人の方々と質問しながら会話できるようになってきました。目の前の業務に責任を持って取り組むなかで多くの技術・知識を吸収し、どんな問題にも対処できる頼れる土木技術者になって様々な工事に携わりたいと思います。

**浜田 真緒** 工学部  
社会工学科  
三郷北部土地区画整理/宅地造成工事



初めての現場は、経験のないことや知らないことばかりなので戸惑うことも多いのですが、毎日新しい知識を身に付けることがとても楽しいです。近頃は、少しずつ仕事を任せてもらえるようになってきたので、責任感を持って取り組んでいきたいと思っています。今心掛けていることは共用部を率先して清掃。分からないことはその場で質問して分からないままにしない。些細なことでもメモを取る&その日やるべきことを書き出すなど。将来的には、早く自分のストロングポイントを見出して磨きをかけ…誰からも「浜田に任せれば安心」と信頼される土木技術者になれば嬉しいです。

**岡谷 有羽** 生産工学部  
土木工学科  
東海市サンヒルズ社山 宅地造成工事



現場で飛び交う専門用語や話の内容の理解に苦労はありますが、知らない事を先輩や上司協力会社の方々に教えて頂けるので毎日が楽しいです。多様な作業が行われている現場では常に「広い視野で物事を見ること」を意識。まだ自分のことで精一杯ですが、職人さんや先輩方が行う作業において手伝えることがあれば積極的に行動。少しずつ一人で出来ることや任せてもらえる業務を増やして早く一人前の施工担当に…誰からも信頼される土木技術者として現場の戦力になりたいです。

**田畑 顕仁** 経済学部  
金融学科  
名古屋支店/工務部 生産事務グループ



土木工事は工程・予算の通りに施工を進めていくイメージでしたが、天候や見積次第で当初の計画通りにいかないことが多い点に驚きました。また、大阪本店と名古屋支店で生産事務を経験するなかで、事業所が違えば業務も異なる点や内容の幅広さを実感。まだ周りの方々に助けられてばかりですが、今は何より「丁寧な仕事」を心掛け、予算書や契約書などの細部まで気を配って見落とすことのないよう注意。いつかは、当社が強みとする土地区画整理事業に携わってみたいですね。

**中田 晋一** 工学研究科  
建築土木工学専攻  
落合～みやぎ送泥管シールド工事



当たり前のように利用している道路や水道などの社会インフラが、どのように造り上げられていくのかを一から学び、その最前線で施工に携わる日々は充実していてとても楽しいです。測量に関しては成長を実感…現場全体の進捗を把握し、職人方が作業を進める段取りを理解した上で、先を見て測量する力がついたと感じています。土木の基礎的な技術・知識のみならず、各作業に要する費用や歩掛りなどを学んで将来に活かし、竹中土木の看板工事となる大規模現場に携わるのが夢。辛いことがあっても「誠心誠意」業務と向き合って悔いを残さず…「やりがいがあり楽しかった」と思える仕事を続けていきたいと思っています。

**中島 璃紗** 工学部  
環境建設工学科  
東海市サンヒルズ社山 宅地造成工事



土木工事は、天候やその地域の環境に左右されることが多いですが、なにがあっても工事は日々進んで徐々に出来上がっていく…そんな現場で「自分が携わった作業の成果」を目の当たりに出来る施工管理の仕事は、とても楽しくやりがいは大きいです。現場で分からないことがあれば、その場で教育担当に確認をして理解できるよう努力。また、「ここを見ておく」と先輩方が示して下さったポイントを基準に、その場で分からなくても後で調べられるように、写真を撮るなどして土木への理解を深める日々はとても充実。何事にも興味を持ち「作業の目的を理解すること」を常に意識して、一人前の施工担当を目指したいと思っています。

# 1年間にわたる新入社員教育

竹中土木の新入社員教育の大きな特徴として、1年という長い期間にわたって実施する点が挙げられます。入社後の1年間は新入社員が社会人として成長し、幅広い知識・技術を習得するとともに、当社の伝統精神を身に付けるための『教育期間』と位置付けられています。

新入社員は、まず導入研修で当社の経営理念・経営戦略と方針展開・コンプライアンス等を学びます。次に、1ヵ月間の実務研修で工事管理(施工管理・安全管理等)、PC基本スキル及びCAD研修など、実際に業務を経験しながら各部門の役割や部門間での業務の流れを習得します。

その後、作業所等へ配属されて行われる職場研修では、年齢の近い先輩が業務の基礎について指導・教育…技術者としての早期育成を図っています。また、前期・後期のローテーションにより幅広い経験・視野を養いながら人的ネットワークを形成。これらは、各人のキャリアの基盤となり竹中土木の総合力・人材力の礎ともなっています。

さらに、入社2年目からは他部署の先輩社員がメンター(指導者・助言者)となって将来のキャリア形成をサポートしていきます。



2023年度/入社式



導入研修が柏研修センターでスタート



レベル等を使った測量実習



職場研修は前期・後期でローテーション



1年間の研修を終えて晴れて正式配属に…



シールド工事の現場見学



竹中技術研究所で先端技術に触れる



職場研修は前期・後期でローテーション



1年間の研修を終えて晴れて正式配属に…

## 仲間意識と協調性を育む寮生活

新入社員は原則として1年間寮生活をおくります。寮では役員や経営幹部も参加する新入社員歓迎会や、寮で生活する社員たちが運営する自治会主催の寮会や歓迎会・懇親会なども行われます。



社長や役員も参加する新入社員歓迎会(柏竹親寮)



柏竹親寮の個室(本社・東京本店)



2022年に完成した豊中竹親寮(大阪本店)

# 充実した社員育成 & 支援制度

## 未来を担う人材の育成

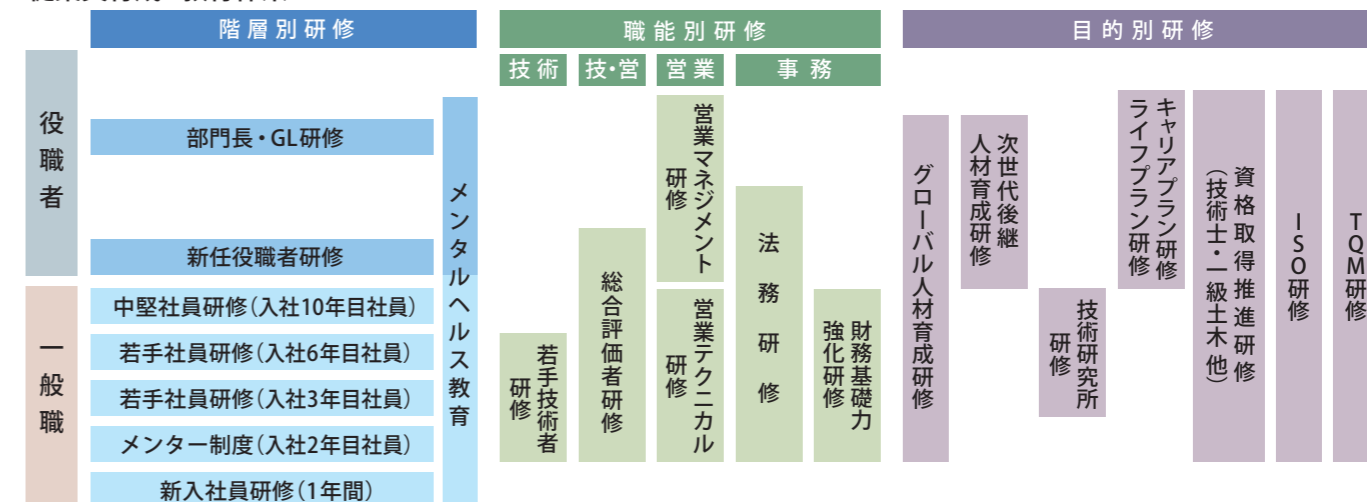
竹中土木は「自ら考え行動できる人材が、真のプロフェッショナルとして時代に適合した新たな価値を創出し未来を担う」という考えのもと、仕事を通じた人材育成を重視しています。

階層別研修・職能別研修・目的別研修など、キャリア形成を支援する従業員育成・教育体系に基づく継続的な人材育成に力を注いでいます。



2023年度/中堅社員研修(入社10年目)

### 従業員育成・教育体系



「技術研究所研修制度」で次代の技術者を育成



「海外研修生制度」を推進してグローバル人材を育成(2022年度/海外研修生)



## 誰もが働きやすい職場環境も魅力の一つです(福利厚生など)

### 厚生施設など

- 独身寮 ● 借り上げ社宅
- 家賃補助 ● 別途帰宅旅費

### 各種制度など

- 社会保険 ● 財形制度
- 竹中グループ団体保険
- 慶弔金 ● クラブ活動



毎年、近隣のマラソン大会に出場する陸上部

### 休日・休暇など

- 年間休日・休暇/127日以上
- 結婚休暇 ● 出産・育児休暇
- 特別休暇 ● 家族団欒休暇
- 子の看護休暇、介護休暇
- シックリープ制度



男性社員も育児休暇を取得

### その他

- 契約リゾートホテル
- 契約サービス 各種

### ダイバーシティを推進

竹中土木は、性別・国籍・年齢などに関わらず、誰もが働きやすい職場環境の構築を目指してダイバーシティ・マネジメントを推進しています。

### 女性が働きやすい職場へ

現場で女性が快適に働けるよう更衣室や休憩室などの環境整備を進めるとともに、ライフイベントをサポートする育児休業・休暇取得制度も充実させています。



## 「現場の声」を聞くオンサイトミーティング



竹中社長



### 社員の想いと向き合う

竹中土木の「社風」を醸成する要因のひとつに、経営層と社員の「距離感の近さ」があると思っております。その一環として毎年4~5回程度、私と役員が全国の作業所や事業所を訪問する「オンサイトミーティング」を開催。毎回10名程の社員たちとフェイスtoフェイスで忌憚のない意見交換を行います。私としては、社員が会社に期待する事や自身のキャリア形成についてなど、現場で働く皆さんの生の声を聞くことができる絶好の機会と捉えており、併せて、建設業界の現状や経営方針について改めてお伝えし、経営の視点からの課題を社員の皆さんと共有する大切な場でもと考えています。



東京本店/作業所  
齊藤 菜穂さん (2021年入社)

初めてオンサイトミーティングに参加し、新たに制度化された「海外研修生制度」について教えて頂きました。また、これから先の「仕事とプライベートの両立」について思い悩むこともあるので、会社の育休制度や福利厚生制度について質問したのですが、社長をはじめ諸先輩の皆さんから沢山のアドバイスを頂き、「社員の想いに向き合ってくださいの社風」と改めて実感しました。将来の仕事や自身のキャリア形成などを考える上で、今後、どのような工事経験を積んでいけばいいのか…方向性が見えてきたように思います。



## 新しい時代の社会造りに挑戦する気概を持った「熱意ある人材」を求めています

私たち竹中土木は、創立以来「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、時代のニーズとお客様の期待に的確に応える『作品』を提供し続けてきました。そして、お客様満足とともに社会の信頼を得て「社会的価値を高める事業活動」を実践してきました。

繰り返される自然災害の脅威やインフラの老朽化など、多くの社会的課題を抱える近年、私たち建設業に求められる機能や価値、果たすべき社会的責任は益々重要性を増してきています。さらに、新陳代謝の激しいスクラップ&ビルドの発展ではなく、豊かな環境を含めた持続可能性に貢献する取り組みが求められています。

この激動の時代に、竹中土木がより多くのお客様から選ばれ安定経営を継続するには、飛躍しつづける活動を支える強靱なマンパワーが必要です。当社は「竹中グループCSRビジョン」のもと、お客様の要請に全力をあげて応え、理想の社会づくりに共に挑戦していく「新たな仲間」を迎え、未来に向かって創造し続けたいと考えています。

### 求める人材像

- 熱意** 「もの造り」が好きで意欲を持って取り組める方
- 前向き** 好奇心とチャレンジ精神を持ち柔軟な考えを持つ方
- 自主性** 自分から率先して課題解決に取り組める方
- ビジョン** 将来の夢や高い目標を持つ方
- 信頼** コミュニケーション能力と仲間を思いやる心を持つ方

もちろん現時点でこれら総てを満たしていなくても構いません。それでも「将来このようになろう」という熱意や気概、信念を持つ方をお待ちしています。大切なことは「社会に役立つ建設業の仕事が好き！」そして「新しい価値を創生するために一緒に挑戦しよう！」という意欲と情熱です。「熱い想い」と将来の「志」を持つ多くの学生の皆さんと、お会いできることを楽しみにしています。

取締役社長

竹中祥悟

